



横浜市立相沢小学校

学校だより

5月号

R2.5.7

何気ない毎日が特別で大切

校長 海老澤 孝代

まちの木々が一斉に新緑の芽を吹き、校庭のもみじも見とれるほどきれいに若葉が輝いています。先日、爽やかな青空にツバメが飛んでいくのを見ました。季節は進み、夏の気配が感じられることとなりました。

4月8日からの休業中、どのように過ごしていましたか。「からだスッキリ！あたまシャッキーン！！」カードを活用し、一日のスケジュールを立てて取り組めたでしょうか。入学、進級してのすぐの休業は、子どもたちの心と体に多くの影響があったことと思っています。今までの生活とスケジュールが違ったり、自分のペースでしたいのに思うように進まなかったりして、気分がすぐれないという子もいるかもしれません。まずは健康第一、時には気分転換を図ることも必要でしょう。時間に余裕のある今だから、興味のあることを探求したり、新しいことにチャレンジしたりもできるでしょう。学校が休業なのだから今まで通りにいかなくて当然と考えて、毎日を楽しみながら過ごせるよう願っています。教職員は、子どもたちとの出会いを楽しみに、授業再開後、円滑に授業に臨むことができるよう準備を進めていました。しかし、5月31日まで休業が延長されるとの横浜市教育委員会からの通知がありました。

3月からの臨時休業が続き、学校に子どもたちが来ることが当たり前と思っていたことが、どれだけ尊く、有難いことだったのかと、私は身に染みて感じています。学校には子どもたちの元気な声があふれているはずでした。一生懸命歌っている、競い合いながら走っている、課題を解決するにはどうすればいいかなと考えている、友達と協力しあいながら活動している……笑顔いっぱいの子もたちがいない学校は本当に寂しくて仕方ありません。学校に子どもがいるという当たり前のことは、本当は特別で大切なのだということです。

ご家庭では、お子さんとの過ごす時間を大切にしてください。お子さんとの今しかできないおしゃべり、何気ないやり取り。植物や生き物の世話をしたり料理を作ったり片付けたり……何気ないこの瞬間は、今だけなのです。どうか、毎日の時間を特別なこととして、大切に過ごしていただきたいと思います。

今後の授業再開時期等については、今まで同様で先の見通しが立たない状況です。夏休み前までは、学区外に出るような活動は見送り、まず落ち着いた学校生活が送れることを優先し、学習を重視して進めていきたいと考えております。授業が再開できたときには、笑顔があふれる充実した教育活動ができるよう準備を進めてまいります。ご理解ご協力いただきますようお願いいたします。

なお、学校からのお知らせや連絡事項、家庭学習の課題などを学校ホームページに掲載しています。随時更新しておりますので、ご覧いただきますようお願いいたします。



学びあい 認めあい 支えあい
夢をはぐくむ あいざわっ子